

四条通の歩道拡幅工事で、市バス対策を交通局に迫る

花見シーズンや5月の連休など四条通で渋滞を巻き起こし、「市民の足」を守るどころか、混乱をひき起こした歩道拡幅工事。日本共産党市会議員団は、都市計画審議会でも、「車の総量規制なし、周辺住民の声聞かず」の歩道拡幅工事開始に反対しました。

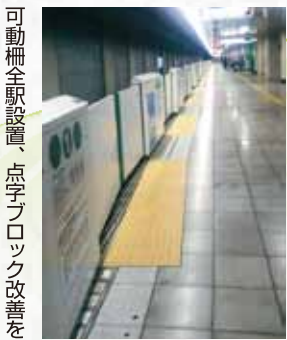
交通局の質疑では合計4回質問。9月でも、土日になると市バスは2分～3分遅れの到着です。また、テラス型バス停(対向車道ぎりぎりまではみ出したバス停)のもと、後方の車が緊急車両専用のゼブラゾーンを通過して市バスを追い越し、いつ事故が起きてもおかしくない状況です。交通局は、どの問題についても「与えられた環境の中で取り組む」と答弁。京都市には何も言えないことが明らかになりました。



地下鉄可動柵の全駅設置へ 設置に伴う点字ブロックは、 視覚障害者が使えるものに

「地下鉄可動柵を全駅に設置せよ」と交通局に求めました。5000筆を超える署名と、議会の論戦が京都市を動かし、昨年運用を開始した烏丸御池駅に続き、10月には四条駅、12月には京都駅の烏丸線3駅で運用が開始されます。質疑の中では、交通局は「財政が厳しい。財政健全化計画以降に計画を立てる」との回答に留まりました。

また、可動柵の設置に伴って点字ブロックの配置が変わり、視覚障害者の方から「歩きにくくなった」との声をいただき、これまで3回の質問を行いました。関係団体とも協議となり、「前向きに検討をする」との回答が得られました。



可動柵全駅設置、点字ブロック改善を

日本共産党 京都市会議員

平井良人

profile：市会議員1期、交通水道消防委員。1978年京都市生まれ。西院小・中学校を経て朱雀高校卒業。大阪国際大学経営情報学部卒業。経理センター(民商)入局。生活相談1000件以上。現在、朱七体育振興会総務部長、中京消防団朱七分団員。

地域 中京区民の声を市議会へ 要求改善に取り組んできました

この間の相談件数は110件を超え、3日に1件の割合で相談が舞い込んできています。市民のくらしは深刻になり続けています。

この間、賃貸マンション建設の相談をいただきました。「家とマンションの壁までが20cmしかなく、このままでは生活ができない」との要望を受け、マンション工場の説明会に参加。1回目の説明会では譲らなかった施工業者も、住民の声と京都市の建築指導課の指導の下で、「今度の工事は50cm近くまでスペースを空ける」と態度を変えました。

住み続けられる京都市へ、引き続き力を尽くす決意です。

西新道錦会商店街の夏祭りに参加

8月に、西新道錦会商店街の夏祭りに参加しました。原田完府会議員と私で、相談コーナーと戦争法案に対するシール投票を行いました。当日は生活相談もあり、対話が盛り上がったのと同時に、多くの方々から激励をいただき、子どもたちが率直に「戦争はアカン」と意見を述べるなど、会話が

原田完府会議員とともに



はずみでした。平和であってこそ商売も生活もあることを改めて実感した瞬間でした。

良人の
いいひと
いいまち

2015



どんな
お困りごとでもお寄せ下さい！

日本共産党中京地区委員会 TEL.801-2591